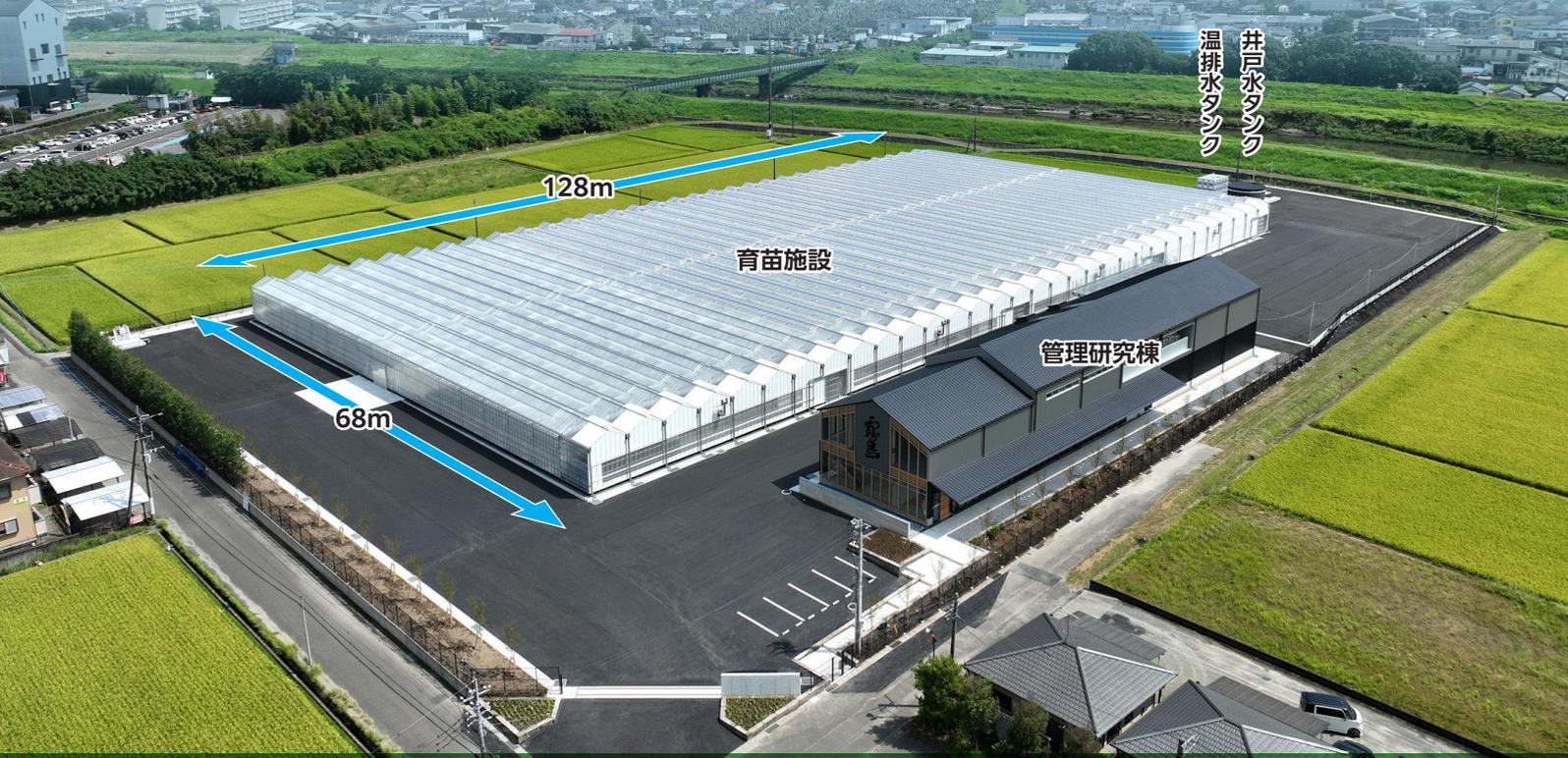


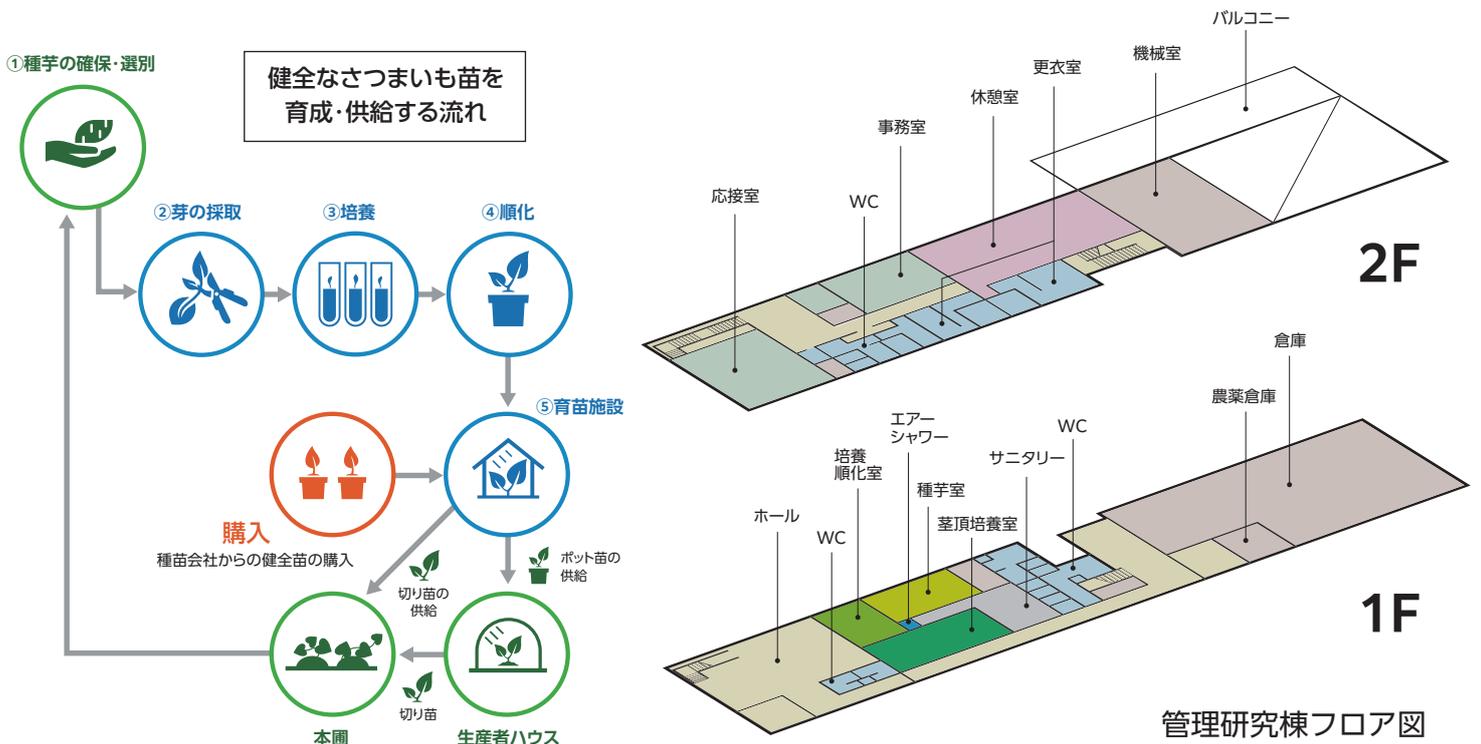


施設の愛称である「イモテラス」には、太陽神としての格をもつ天照大神（アマテラスオオミカミ）のようにさつまいもの未来を照らす明るい存在になってほしいという思いが込められています。また太陽のように輝かさつまいもと力強く育つさつまいも苗をイメージした施設ロゴで、明るい未来への想いを表現しました。



霧島さつまいも種苗生産センター「イモテラス」

本施設「イモテラス」は種苗の段階における「サツマイモ基腐病」（以後「基腐病」と呼称）拡大防止のほか、さつまいもの研究開発を目的とした施設です。菌やウイルスが検出されないさつまいもの茎頂を切り出して培養した苗を育成し、健全なさつまいも苗を生産農家へ供給していくための施設です。





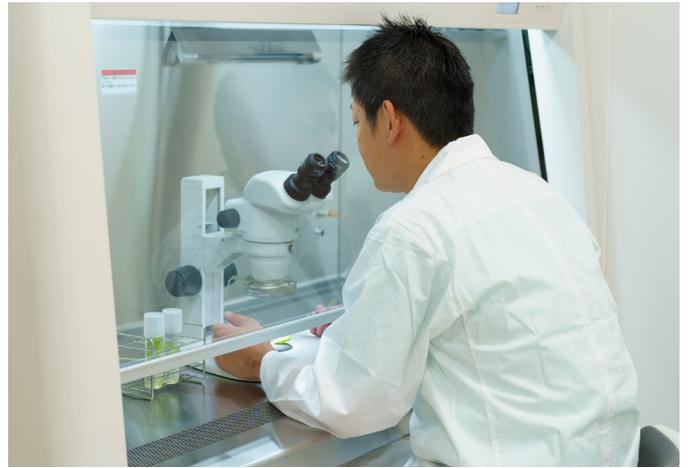
管理研究棟



育苗施設内部



育苗施設で生育中のポット苗



茎頂培養を行っている様子

霧島さつまいも種苗生産センター「イモテラス」における事業内容

① 健全な苗の育成・供給

基腐病に限らず、病害発生リスクの少ない健全なさつまいも苗を生産農家の皆様へ供給するため、菌やウイルスが検出されない茎頂培養苗を育成します。供給する品種は、これまで主に使用していた品種「黄金千貫(コガネセンガン)」に加え、基腐病の抵抗性が高い品種「みちしづく」などを予定しています。

② さつまいもの研究開発

さつまいもの安定確保と新たな価値の創出を目指す研究室を設けました。栽培環境の把握・省力化、新品种の研究などを行い、生産農家の皆様に支援してまいります。

住 所	宮崎県都城市志比田町10877番地
建 物 構 造	鉄骨造り2階建て(管理研究棟)、オランダ式高軒高ハウス(育苗施設)
延 べ 床 面 積	9,942㎡(うち研究棟1,238㎡、育苗施設8,704㎡)
敷 地 面 積	17,565㎡
総 工 費	約14億円
着 工	2023年1月31日
稼 働	2023年9月25日
生 産 能 力	最大200万本(切り苗)、最大9万本(ポット苗)
設 備 能 力	自動灌水制御、環境制御システム、自走式防除・灌水システム、ミスト加湿機、温水利用温風発生機、ガス焚き加温機、IKシステムベンチ(スライド式高設ベンチ)、UVBライト